

水域生態系の構造および 環境汚染物質の挙動の解明

Keywords 安定同位体比, 食物網, 放射性物質, Sr, 福島第一原子力発電所事故

01 本研究の適用分野・用途

- ・環境汚染物質(放射性物質, 水銀等)の水環境における動態解明, 汚染実態把握, 除染対の検討等
- ・人間活動が水域生態系に与える影響の解明, 評価(構造変化等)等

02 アピールポイント

- ・環境汚染物質
放射性ストロンチウム分析法の改良
海・河川・湖沼における生物を活用した
モニタリング法の開発と実施
- ・水域生態系の構造
炭素・窒素・硫黄安定同位体比分析
による食物網構造解析

研究概要

目的: 水環境(水域生態系)の構造とその中で動いている様々な環境汚染物質の挙動を解明

方法: **水域生態系の構造: 食物網構造**

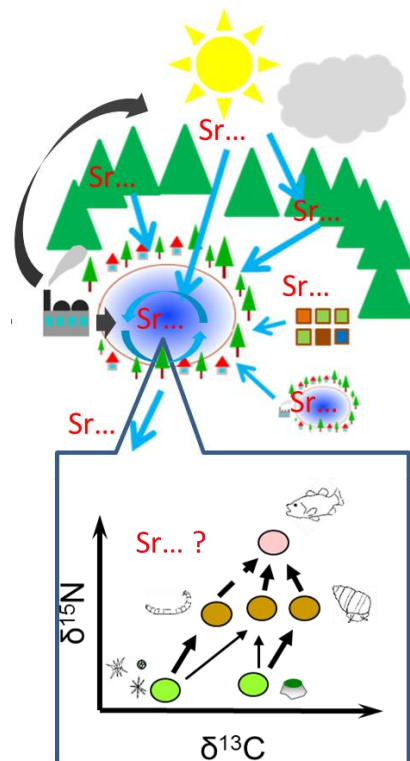
→安定同位体比分析(C, N, S)を活用
CとNでは解析できない場合に新たに**S**を活用することで, 新たな事象が見える

環境汚染物質の挙動

→**分析法**, モニタリング法開発と現地調査
対象: 放射性物質(Sr, Cs), 水銀, 窒素等
分析法の開発(放射性Sr分析法の改良):
クラウンエーテル(Sr Resin, Eichrom)の活用により, 従来の公定法を簡略化

現在の主な研究内容

- 1, 放射性ストロンチウム分析法の迅速化
- 2, 福島第一原子力発電所事故に由来する放射性ストロンチウムの海, 河川での汚染実態の解明



水域生態系における
汚染物質の動き

